

藤田女學校の夏期講習
・來八月四日から五日間
小町藤田女學校では來八月四日から八日までの五日間同校内に第九回夏季講習會を開催し洋裁、手藝、織物編物等の講習をなす等だが尙ほ課外教授もある由で會費は一圓になつてゐる希望者は來月二日までに同校宛を以て申込まれたいと

从此から多く 次難被害 常に注意 犯罪を

北海道の夏井村長、阿部瀧藏、本村開始の年代は明治からか
らざるも大字七飯村所在曹洞宗寶林寺所蔵の由緒書によれば元和元年の頃字一櫻木の麓に地蔵菩薩の堂宇あり住民之れを信仰せりとあり當時既に和人集團部落にして本道開拓先駆の土地なることを知るべし、明治五年開拓使七重勘業試験場を本村に設置盛んに内外農業の模範を示し開拓の事業を奨励せしが漸次縮少し後七年に至り全廢せり是より先き明治二十一年龜田外三郎役所(後龜田支廳)を本村に設置せられたるも同三十一年に至り函館市に移轉せり明治四十年四月一級町村制施行せられ今日に及べり役場位置、龜田郡七飯村にあり七飯學より近く村長一助役一、收入役一、書記六助役一、皆有給なり村長の月額百二十圓、助役八十圓、收入役七十圓、書記平均五十圓農會及び信用組合は村長務、本村は前述の如く純農村にして村民に政派なし現戸數千四百三十一人口九千五十八人農產物、米、大豆、小豆、大小麥、燕麥、菜種、豌豆、菜豆、粟、稗、玉蜀黍、馬

北海道の夏井村長、阿部瀧藏、本村開始の年代は明治からか
らざるも大字七飯村所在曹洞宗寶林寺所蔵の由緒書によれば元和元年の頃字一櫻木の麓に地蔵菩薩の堂宇あり住民之れを信仰せりとあり當時既に和人集團部落にして本道開拓先駆の土地なることを知るべし、明治五年開拓使七重勘業試験場を本村に設置盛んに内外農業の模範を示し開拓の事業を奨励せしが漸次縮少し後七年に至り全廢せり是より先き明治二十一年龜田外三郎役所(後龜田支廳)を本村に設置せられたるも同三十一年に至り函館市に移轉せり明治四十年四月一級町村制施行せられ今日に及べり役場位置、龜田郡七飯村にあり七飯學より近く村長一助役一、收入役一、書記六助役一、皆有給なり村長の月額百二十圓、助役八十圓、收入役七十圓、書記平均五十圓農會及び信用組合は村長務、本村は前述の如く純農村にして村民に政派なし現戸數千四百三十一人口九千五十八人農產物、米、大豆、小豆、大小麥、燕麥、菜種、豌豆、菜豆、粟、稗、玉蜀黍、馬

歯科、眼鏡、アトム、等

「百合洋傘」
取扱ヘマシタ」

内科、小兒科
外科、花柳病院
耳鼻咽喉科
レントゲン科
院長 医學士高久忠

平町、電話五二三九

石城郡町村
長會視察員
（土）

婦人病に悩む方
々に一度は実験
を勧む

子供服 特賣
ウルトラな31型
の麦帽子 四〇錢
シーグな子供服
トブルコ袋 一五錢

内服薬 美神丸
座薬 美神湯

有する婦人薬

モリタヤ洋品店
平5丁目東353

山野邊藥局

平町一丁目
鷹崎千代

醫院開業
私儀今般左記場所に醫院を開業一般
診療に從事致すべく候
（平町鷹川通（交屋新宅向）

醫學博士 難波
電話五〇二番

醫學博士 難波
電話五〇二番

内科一般
午前午後診
（午前午後九時より）

幾多の治療剤中超然として偉
効靈能を有するものは獨り本
藥のみ
（但し急患は此限りに非す）

肺病、肋膜、肺炎カタル等
定價（一圓、四圓、六圓）
（平町五丁目角）

特約店 山野邊藥局

G.H.N.酒
スイーツ
イヌイ
甘味
葡萄
元
詰
平町一丁目
鷹崎千代

電話三五七番

（電三）

シケイア

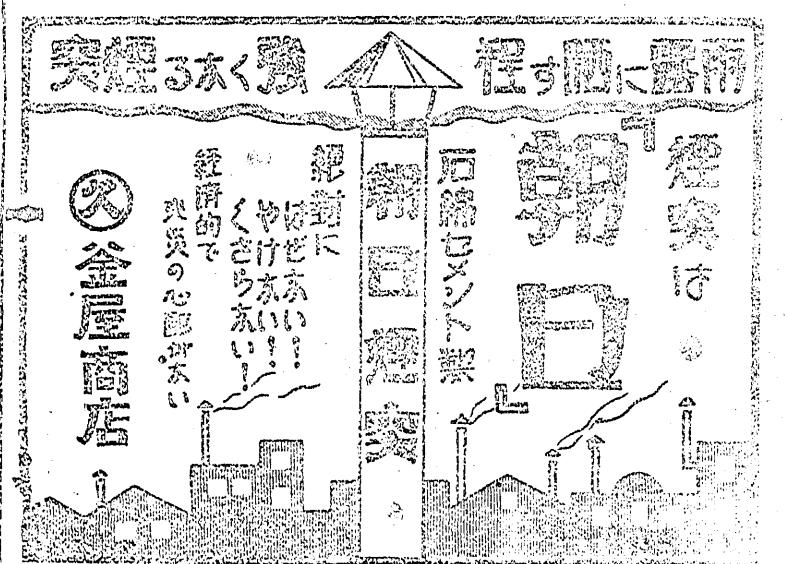
（平二） 西村屋藥舗

お醤油は
ヤマフル

醤油 味噌
たひら正宗
鰯節食料品

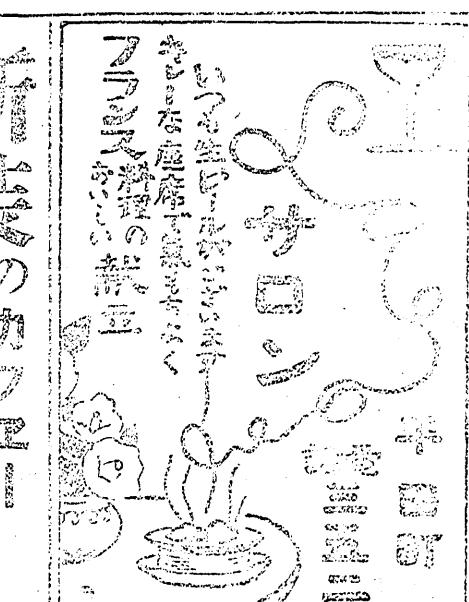
鹽屋
（本業部一
平七番町）

金山崎台名會社
（平七番町）



近現代的
食堂に改進
致しました
どうぞお出で下さいませ
各品共從來の通り勉強いたします
（平野前）

平野前 カフェ・ド・タヒラ
電話六〇二番



◎病体改造!!
カイソネーチャ療法の出現
海草蒸熱療法なるが故に從來の物理療法と
異る各種病症に特効あるは既に定評があります
論より証據あらゆる難病者は即時御
實驗を乞ふ

特許中山式（平町大町電話三七一番）
カイソネーチャ碧城分院

吉田五平

模範

高島屋の洋服

（平野前）電話三八六番

春着の
御用意は
高島屋へ

新柄着荷

（絶対に胃腸を害さぬ）

（絶対に胃腸を害さぬ）

服んで良くなり
淋病と
消渴の
特効薬 濟淋

本舗 責任製剤 水野藥局
（振替時金口座）

平町一丁目